

5月17日、メッセンジャーの黒田禎一郎師、ピアニストの野田常喜兄、通訳の莊田欽二兄、世話役の中川庸子姉とともに、10日間の台湾賛美ツアーを終え、元気に日本に戻りました。今回も、台湾長老教会刷新協会の主催により、台北、高雄、台中にて、6回の賛美奉仕をさせていただきました。



ハードなスケジュールでしたが、主が最後まで健康と声を守ってくださいり、主の恵みの中で、心からの賛美を捧げることができました。背後で皆さんが祈ってくださっていることをひしひしと感じました。心からお礼申し上げます！（写真：高雄）

●高い地位の人たちのために祈れ！

今回は、長老教会以外に、高雄市内にある真愛教会で賛美をさせていただきました。この教会は、3人のクリスチヤン夫人が始めた聖書読書会から始まりました。現在、無牧です。そのため、ウィークデーに講師の先生をお招きしては、聖書読書会を続けています。読書会を始められた3人の夫婦たちの、謙遜かつ凛としたお姿で献身的に仕える姿が実に印象的でした。



私が賛美させていただいた5月13日は、教会の顧問であり、台湾の前国防長官であった蔡明憲氏が講師として招かれていました。参加者は200名ほどだったと思います。蔡氏の2時間半に渡る講演の後、私が40～50分ほどの賛美と証しをさせていただきました。最初の「ああ、感謝せん」の第一声から、主への感謝の思いが沸々と湧き上がり、最後まで、溢れる感謝と感動とともに、賛美させていただくことができました。

夜の夕食会では、蔡氏から、これまで出会った世界中の多くの政治家に福音を証し、主の導きを仰ぎながら、折々に聖書や信仰書を渡されて来たことを伺いました。また、ブッシュ大統領やオバマ大統領などのクリスチヤン首脳陣とは、出会う度に共に祈り合って来たそうです。「国々のリーダーが、みことばに従って国を司ることができるよう！」という蔡氏の熱い思いを伺い、高い地位の人々のために祈る大切さを思わされました。そして、今の日本の現状を憂いてばかりいるのではなく、聖書のみことばに従う首相や政治家たちが起こされることを、もっと真剣に祈らなければいけないと思いました。

●日本人が建てた台湾人教会、 台湾人が建てた日本語教会



今回、台北に到着した翌日の礼拝で賛美奉仕をさせていただいた、東門教会は、日本人が建てた教会です。もし私のメモに間違いがなければ、1946年、日本ホーリネス教団と台湾長老教会によって建てられたと伺っています。会員数約500名の大きな教会で、しつかりしたみことばの学びを通して育まれてきた教会です。主の豊かなご臨在を感じ、教会の皆さんと、靈にあってひとつされたことを感じました。

その一週間後に礼拝に出席させていただいた、台北の濟南（さいなん）教会もそのひとつです。日本の台湾統治が始まって間もない1896年に、マッカイ宣教師と台湾人豪商・李春生氏の協力により、日本基督教団台北幸町教会が建てられました。その後、1916年、日本人建築家井出薰氏の設計によって、現在の洋風レンガ造りの教会へと建て替えられ、戦後、台湾基督長老教会濟南教会となりました。現在、この教会は、市定古跡となっています。



その日の午後、賛美奉仕をさせていただいた台北の国際日語教会は、台湾人が建てた日本語教会です。

1895年～1945年、日本の統治下に生きた台湾の方々は、「～才から～才まで日本人でした」と言い、実に美しい日本語を話します。その方が、日本語で礼拝を守るための教会を建てました。日本人からのいじめや歴史的苦難を、十字架の愛をいただいて乗り越え、赦し、受け入れ、献身的に日本人、台湾人を助けて来られた、自称「日本語族」（台湾の日本語を母語として生活していた台湾の人）の方々のほとんどは、すでに80歳を越えました。そして今、日語教会には、これから世代を担う若い日本人、日本語を話す東南アジア人が多く集うようになりました。



歴史の流れに伴って、教会も変遷して行きます。けれども、決して変わることのないイエス様がいつも共にいてくださいます。「ああ、感謝せん。わが神、今まで導きませり！」知れば知るほど複雑な状況の台湾の中で、どこしえに変わることのないイエス様を呼び求める人々、キリストに従い、このお方を宣べ伝える人々が、さらに起こされて行きますように！

●これからの予定とお祈りのお願い

1. 5月28日にドイツに戻ります。6月には、26日（土）に、パリ・プロテスタント教会にて賛美コンサート、翌27日（日）に、同教会にて礼拝賛美を予定しています。どうぞお祈りください。

2. これまでAKMMチャリティーコンサートが支援してきたミャンマーから、緊急祈祷課題の連絡が入りました。以下、一部を抜粋して貼り付けますので、お祈りください！

「例年5月半ばにやってくる雨期がまだ来ていません。40度を超す猛暑と、ひだりのため、ミャンマーの広域で深刻な水不足にさらされています。抵抗力が低いお年寄りや小さな子供を始め、各地で病人、死者数が急増しています。人口5~6百万のヤンゴン、第の最大都市マンダレーでも、病人、死者が急増、病院は手一杯です。水力発電のため電気の供給はストップしています。郊外や田舎では井戸がなければ、池や瓶に雨水をため生活用水としていますが、汚染された水によって激しい下痢で体が弱って、死ぬ人が後を絶ちません。人口が密集したヤンゴンは多くの市民が8階建てコンクリート製アパートで暮らしています。政府供給の水を電力ポンプで吸い上げ、各家庭で風呂場のタンクに貯めるのですが、電気が夜中に3、4時間しか来ないような状況下では、水浴びさえ満足にできず、市民は“死にそうな”暑さに耐えています。支援している「希望の家」に関していえば幸い、3年前掘った井戸から水が出ます。村の人たちも飲料水としてその井戸を利用しています。一日も早く雨期が訪れるようにお祈りください！」



●お知らせ

AKMMホームページに関するお知らせです！

1. メルマガご希望の方、配信停止を希望される方は、AKMMホームページ中央下の欄から、登録、解除ができます。
2. メールアドレスを変更された方は、古いアドレスを解除し、新しいアドレスを登録してください。
3. ニュースレター購読ご希望の方は、同じくAKMMホームページの左のニュースレターの欄をクリックすると最新号がご覧になれます。
4. メルマガのすべてのバックナンバーを、MAILMAGAのコーナーからご覧になれます。
5. 年内のコンサート・スケジュールを、SCHEDULEのコーナーからご覧になれます。
6. AKMMのCD,本は、CD&BOOKSのコーナーから、オンライン・ストアで購入できます。是非ご利用ください！



では、次回は、ドイツからメルマガを送らせていただきます。

皆様の上に、主の溢れる恵みが共にありますように！

工藤篤子